阿知須町広報

№ 223　この広報紙は毎月1回各ご家庭にもれなく配布

昭和45年6月5日

山口県吉敷郡阿知須町
発行 阿知須町役場
電話1・〒754—12
印刷 阿知須砂合よしの印刷

町の住民登録人口
（昭和45年5月1日現在）前月比
世帯　1,950世帯　+2
人口　8.078人　+1
（男 3.793人 女 4.285人）
国勢調査(昭和40年10月1日)
世帯　1.892世帯
人口　8.197人
（男 3.828人 女 4.369人）

寄付と寄贈

▽田中賢一さん（向井関）は亡父真文さんの香典返しとして五千円を町社会福祉協議会へ寄付。
▽重村政一さん（砂三）は亡妻マンさんの香典返しとして二万円を町社会福祉協議会へ寄付。

今月の納税

国民健康保険税

水害シーズンがやってくる
水防体制はOKだが

雨の季節を迎えました。農家にとって千金の雨も、多過ぎると田畑を洗い、家を押しつぶすことにもなります。町では水害シーズンに備え、水防体制を固めています。災害は起らないに越したことはありませんが、いつ、どのように起るか判りません。そこで大雨を中心とした水害対策について考えてみましょう。

（八〇ミリ越）（すると注意を）

西日本の豪雨の記録をみると①どれも梅雨期間中に発生している②雷を伴なっているのが多い③山くずれが多発している④風に関する記録があまたらない。という特徴があります。本町においても同様で、台風と豪雨の被害が一緒ということはこれまでなかったようです。

雨量と被害の関係は雨の強さ、継続時間、土地の湿り具合などで違いますが、河川を除いては十数年や地形が大いに関係しています。雨量の大まかな目安としては一日の雨量が八十ミリを越えると水害が出はじめ、百五十ミリを越すとかなり大規模になるとみればよいようです。

また二時間に二十ミリ以上の強い雨が三時間も続くと中小河川はほぼ一般的に氾濫します。

一般的に台風は二、三日前からそのために雷を伴なった強い雨が降り出したら一応、局地的豪雨とみなして警戒するのが賢明でしょう。

※雨量の「ミリ」は雨が平地に降ってどこへも流れていかないものとしたとき、その水がどの深さにたまるかという単位。例えば「十ミリ」といえば「一㎡」の深さであり、一平方㎞当り十リットルの量に当ります。

避難場所を考えておく

どこで水害が起きた場合、あるいは起きそうなときはどうすればよいでしょうか。本町の場合、ここ十年間の水害をみると四十一年に十路石川の中流とどこの堤防が切れそうになったのが特筆されるだけで、あとは小さな地すべり程度でした。

これは地理的条件に恵まれていることや建設事業が進んでいることによるものでしょうが、過去に被害がなかったからといって油断はできません。

そこで、日頃から心がけておくことは、

①危急の際の避難場所を家族とよく話しておく
②避難の服装等を整えておく。（夜間の発生を予測し、照明具ヘルメット等を必要）

など。また災害が発生したら、

①指示された避難場所に向かう
②動作は早く、しかも冷静に行動する

などを基本にしておきたいものです。

ここが避難所

なお水害が起きそうな場合、町では水防本部を設置し、町長を本部長として各課係をそれぞれ配置し対策に当ることにしています。

町内の避難場所は次のとおりです
役場・阿知須小・阿知須中・商工会館・本龍寺・岩倉保育園・砂合保育園・小古郷会館・東条公民館鴨生原公民館・岩西集会所・岩前集会所・岩倉中央公会堂・岩迂集会所・砂合公民館・鴨田公民館・北集会所・目公民館・門松集会所・明栄寺・井関説教所・井関小・目明栄寺・井関説教所・井関小・目・岡集会所・井関集会所・浜表集会所・井関集会所・河内集会所・赤迫集会所・源河集会所・引野集会所・仙在集会所。

お嬢さん交通指導員
小郡署管内にお目見得

小郡署管内にお嬢さんの交通指導員が誕生、本町の十七夜祭当日初めて阿知須駅前の交差点で交通指導に当ります。

目下、とにふえる交通事故に対処するため小郡交通安全協会では四月から女子の交通指導員を一人選任、専属の指導員として小郡警察署内で交通指導に当らせています。

青い制服に白モールをつけて、さながら婦人警官のような服装をして、あちこちの街頭に出ていますが、この指導員、松永ミ子さん（一九）＝山口市佐山＝も実は数年前に父親を交通事故で失なった交通遺児。それだけに交通事故をなくする願いは人一倍強い。『佐山で交通指導をする人はいないだろうか』という人の声を聞いて、昨年六月から今年一月まで佐山小学校付近で交代をしていたほどです。本町で指導するとき、横断するためいきなり道路にとび出す人がある。自動車はすぐ止らないので気をつけてほしい」と話っていました。

（写真は幼児を指導する女子交通指導員）

徳永、吉藤さんを表彰
町体協　初の体育功労者

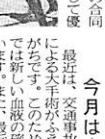
町体育協会では、本町の社会体育振興、発展に寄与した人をたたえるため、このほど表彰規程を設けましたが、その第一回表彰を町民運動会の開会式で行ないました。初の受賞者は、岩上の徳永孝一さん（四八）と門松の吉藤登さん（四三）の二人で、いずれも長い間地区の役員として体育振興につとめた人です。

なおこの規程は①体育振興に関し、その功績が顕著なるとき。②他の模範となる特別行為のあったとき。③多年の体育振興に精勤であった人を基然として表彰することになっており、区長または所属の人を通じて町体育協会長の申し出により体育協会には かって表彰することになっています。

徳永　一さん（宇部窯業工場勤務）三十五年から現在まで岩上区体育委員として、任務を遂行し、地区の人々員から感謝されている。

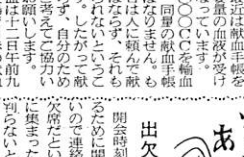
吉藤　登さん（自衛隊山口駐とん地勤務）昭和四十二年目、岡地区体育部設立当初から地区内の体育活動に積極的に参加、指導に当るなど地区民の体育向上に貢献している。

砂飛が優勝
町民運動会



第十四回町民運動会は快晴に恵まれた五月十七日、阿知須中学校運動場で行なわれました。町内の部落を三チームに分けての競技でしたが、ことしは十三地区そろって正式に参加、応援一戦もにぎやかに各種目とも熱戦が展開されました。

競技の結果は砂合と飛石の合同チームが絶えず他をリードして優勝、一位は中村と西条の合同チーム、三位は小古郷と岩倉が同点入賞でした。（〇真は張切る選手）



〔献血は人のためならず〕
今月は十三日

最近は、交通事故や医学の進歩による大手術がふえ、血液が不足では新しい血液の確保につとめています。また、最近は献血手帳を提示しないと必要量の血液が受けられないことになっています。

たとえば、一〇〇〇CCを輸血してもらう場合、同量の献血手帳を提示しなければなりません。もし手帳がない場合は人に頼んで献血してもらわねばなりず、それもなかなか人が得られないということも多いようです。したがって献血は人のためならず、自分のためにもなるようお願いします。

なお毎月の献血は十一日午前九時から午後五時まで役場で日赤の献血車「白ばと号」によって行なわれます。

〔有線放送で町政だより〕
毎週土曜日の夜九時

毎月一回、隔日夜九時に有線放送を通じて「町政だより」をおうけお聞きください。

テーマミュージックは『明るい街』という題です。町の動きや連絡事項など放送していますのでどうぞお聞きください。

ソット あなたに
出欠は連絡を

関会時刻はきたが一人遅れているために開会を待つ、あまりに遅いので連絡をする。そのあげくは欠席だという。その間に定刻までに集まった人は何分待たされるか判らないという例が多いようです。

これは、会議に予定どおり進むし、出席人々の信用のためにもなっておけばそれがのちのちまで役立つことも大事なのは、あなたにとって時間をムダにさせるのは、人に指害を与えることにもなるわけです。

現代は電話も発達しています。事前にひとこと「遅れる」「欠席させてもらう」などいっておけば、こうして時間をムダにさせるのは、人に指害を与えることにもなるわけです。

なお、事前にひとこと「遅れる」「欠席させてもらう」などいっておけば、それがのちのちまで役立つことも大事なのは、あなたの信用となってえうってくるのです。

能力は人の約十倍
〈商工会が小型の電子計算機導入〉

阿知須商工会は経理事務の合理化をはかるためのほど小型電子計算機を百八万円で購入、会員の店の経理の代行をはじめました。

これは現在、商店で行なっている出納帳、売上げ帳、営業費勘定などの機械にかけようとするもので、手作業の約十倍の能力をもっています。例えば百万円程度の売上げのある店の経理は四カ月分が三時間で処理でき、店に代って経理するのも一カ月に二百軒分できるとのことです。

これを担当する職員は仕訳伝票作成・機械作動係の二人です。経理の代行料は店によって異なるが一カ月千七百円から二千五百円程度です。

同会ではこれを機に会員全店が青色申告を実施するよう指導していく計画です。

なお商工会で電子計算機を導入したのは中国地方では阿知須が最初のことです。

（写真は商工会が備えた電子計算機）

6月の行事予定

7日	計量記念日・木船公園開園式
9日	定例乳児相談（婦人学級）
10日	時の記念日・福祉年金定時届（住民課）
11日	〃 日本脳炎予防接種（阿知須小）
13日	短歌会（兼重宅）・住民検診（17日まで）・献血（役場）
14日	病害虫防除一斉（町内全域）
21日	父の日
22日	夏至
30日	五年年金加入申し出締切日

お知らせ

交通事故の巡回相談所

県交通安全対策室は県下各地をまわって交通事故相談に当っていますが、六月には阿知須地区を含めて小郡町役場で交通巡回相談所を五回開設します。

開設日は六月の九日、十六日、二十三日、三十日（いずれも火曜日）です。

交通事故に関して悩みごと、対策などありましたらどうぞご利用なさいます。

一人ッ子を亡くした人

国では太平洋戦争で一人ッ子（または最後に残された子）を失なった父母等を慰めるために、特別給付金を給付することになっていますが、請求書の提出期限は七月十三日までです。該当者は請求書を町役場厚生課へ提出ください。

◎対象者＝戦場で死亡した軍人、傷軍人、軍属、準軍属の父母等（実父母、養父母、継父母）
◎給付要件＝昭和四十二年四月一日現在、戦争公務による次の年金等を受ける権利のある人①恩給法による公務扶助料、特別扶助料②援護法による遺族年金、特別年金、遺族給与金③共済関係の殉職年金（旧令除・海軍・国鉄・郵政）④戦没者の死亡当日戦没者以外に子も孫もなかった人（養子、継子など法定血族を含む）
◎戦没者の死亡以後、自然血族が出生していない人（法定血族は含まない）
◎請求できる人は本人、またはその遺族相続人

警察官を募集しています

警視庁、京都、大阪府、兵庫、神奈川県警では来年四月採用の警察官を募集しています。

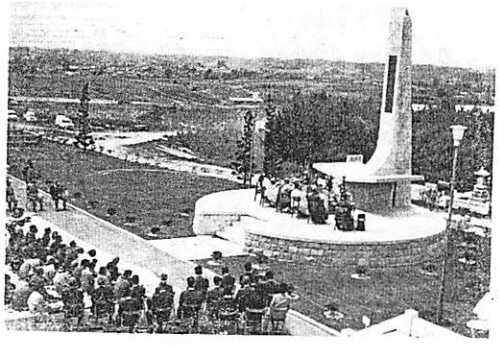
◎予定人員＝八十名
◎受験資格(1)警察官（A）＝大学部卒業者か見込み者、または同等もの(2)警察官（B）＝高校卒程度。
◎一次試験＝会場は山口県警察学校か宇部署など。(1)教養試験（択一式筆記）(2)論文、作文（Aは論文、Bは作文）(3)身体検査と体力検査（身長一六〇㌢以上視力〇・六まではメガネをかけて一・〇以上）
◎二次試験＝身体精密、適性検査
◎給与＝高校卒二万七千百十円、短大卒二万九千百十円、大学卒三万一千五百十円以上。
◎願書受付け＝すでに受付け中で締切りは八月十七日。くわしいことは警察で教えます。

農繁期の健康

田植の季節を迎える頃となりました。農繁期労働そのものに強い筋肉を必要とするうえに、不自然な姿勢をとらねばならないことが多く、しかも労働時間が長いとこうことで過重労働におちいって、健康障害を招きやすくなります。特に、リュウマチ、神経痛、心臓疾患、高血圧症、胃腸疾患が多くこの対策として労働の合理化、栄養改善による体力向上などが重要とされています。そのほか労働に適した長さの休息時間を入れ、音楽や軽い娯楽で気分転換をはかったり、入浴やマッサージで血行をよくする。十分な睡眠を取るなど少しでも疲労をのこさないようにしたいものです。また、食生活としては、コーレー、ビタミンB1 B2、Cの摂取と、台所を使いやすく整理したりして、農繁期にそなえたいものです。

加入者六百戸越す

五年迎えた簡易水道



参列者がずらり戦没者慰霊祭

阿知須補連会主催）は中学二チーム、高校四、一般七チームが参加。地元阿知須からも一般の部に参加、熱戦を展開した結果、二位に入賞しました。一位はセントラル硝子A、三位はラクタムでした。

阿知須の選手は中野新一郎（月北）中野政則（岩前）中嶋信忠（浜）松永利明（野村電機）さんの四人でした。

◇

小さな善行の主は西村満博君

阿知須警察官派出所はこのほど阿知須小学校三年西村満博君（細田南）を"小さな善行者"として記念品を贈り、その行為をたたえました。

二カ月はかり前のこと。阿知須小学校前川付近乳母車を押したおばあさんが通りかかった。歩道に車を乗りあげようとしたとき、門の近くにいた小学生が走り寄って手をかし、すぐさま歩道に引きあげた。おばあさんはそれがよほどうれしかったらしく、学校へ礼状を出したため、学校で調べた結果、西村君であることが判ったのです。ところがこれを聞いた派出所の清水主任が、こんどは記念品（定規セット）を贈り"小さな善行者"としてたたえたというわけです。

なお当日、木船公園で行なわれた第二回近郷柔道大会（町教委、

ことしもしめやかに慰霊祭

岡山の高台に眠れる戦没者の慰霊祭がことしも五月十五日に行なわれました。

合同納骨塔とともに英霊の塔ができたのは四十二年十月。それから毎年春、この英霊の塔で町主催の慰霊祭が続けられていますが、ことしも、わが子、わが夫をとくした遺族約二百人と、町内の官公庁や団体の代表らが参列、しめやかに行なわれたものです。

本町の戦没者は一百六十二柱です。

お祭り二つ大にぎわい

熊野神社（通称岩倉稲荷さま）の例祭は五月十三日、恵比須神社（通称明神さま）の十七夜祭は一一日行なわれました。

熊野神社はこのたび岩倉区民などの氏神社殿の内部を改装したため、この落慶披露を含めてのお祭りとあって餅二俵多ついて餅まきをしました。同地区は農家ばっかりですが時ならぬ餅まきに婦人子どもなどで大にぎわい、たくさんの餅を手にして大喜びでした。

また恵比須神社のお祭りは砂合の踊り引き出、西条のミコシが町をねり、夜は管絃船、花火大会で賑わいました。ことしは万国博開催中とあって住吉花火は万国博にちなんだものもあり、初夏の一夜祭り客たちを楽しませました。

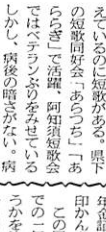
人

内職指導員　藤重綾代さん

後遺症残る足にふらつきつつ杖に寄りて立ち居る

リュウマチのため二年間寝たきりの生活から起ち上ったときは手も足もなえていた。でもベットから抜け出したとき、再起への喜びと「生きねばならぬ」という覚悟に駆られた。ようやく一人で身のまわりのことができるようになったと県の福祉主事が訪れ『編物をしないか』と奨めた。材料は県内職協会から配達し、製品を主に集めに来る。だから例え身体が不自由でも一歩も外へ出なくてもよい。機械もいらない。カギの編み棒一本さえあればよい。そういうことで始めたのが、今では「内職指導員」となった。

もともと藤重さん夫婦用な人で病む前は油絵をよく書き、若い人も教えていた。刺しゅうもしていた。内職としての編物はカーディガンの身ごろを編む単純なものである。だから普通には身体が不自由なため、人知れぬ苦労がある。



レース糸編む人に遅れて伝え聞いて集った人は約三十人。いま残るのは十人となった。力どもうず登える指を休め休め人に遅れて三年生まれ。

東西の話題

加入者六百戸越す

五年迎えた簡易水道

六月は水道のしくみをよく知り水道の将来を考えていこう…とする運動が続けられています。水道局の伝染病の予防②台所を明るくし、豊かな生活環境を築く③家事のむだをなくする④防火や消火に役立つ⑤いろいろな産業発展に重要な役割りをつとめている。など生活文化が進めば進むほど天事になってきます。そこで事業開始満五年を迎えた本町の簡易水道事業について紹介してみましょう。

ドラム缶に二千本…一日の供給量…

本町の簡易水道事業が始まったのは昭和四十年七月。赤迫二河内の二カ所に井戸を掘り、杖川の大平山の貯水池（四七万）までポンプで汲み上げ、そこから各家庭までポンプで送る仕組みです。

給水区域は主として阿知須校区（岩倉を除く）を対象とし当初は四百七十九戸で、町全体の約四分の一。計画給水人口は四千九百人ではじめたわけです。

しかし、水道の利用価値が認識されると加入者も年ごとにふえ、現在では六百四十六戸になり、井戸も三カ所になっています。水道管の総延長は二十三キロ、つまり阿知須駅と小郡駅を往復するくらいの距離に相当しています。給水量は一日平均約四百トンです。これはドラム缶二千本の容量に相当します。夏場になるとさらにふえ六百トン近くなります。したがって、現在の能力では夏場は水不足が懸念されるので、宇部市の上水道から水を分けてもらうとう計画中です。

工事は指定業者に

では人は一一体どのくらいの水を使うものでしょうか。水道を設計するときは一人一日当り二百四十リットルが基準とされています。つまりドラム缶（二〇〇ℓ）一杯よりも多いわけです。それも生活水準が高まれば高まるほどふえてくるといわれます。水の使用量はまた生活のバロメーターだともいえます。

しかし、水道は衛生的である反面、これを不注意に使用すると伝染病や多くの人の命にかかわることがあります。そこで水道法では次のように禁止しています。

①給水栓（蛇口）に直接ホースをつけてバケツや水おけなど入れ放しにしない。

②太陽熱利用の温水器に水道管を直結する場合は上・下管至一本取付けること。

③工事は指定工事者以外の人は勝手にできない。

ところで町の簡易水道をどうしたら良いかの問題ですが、これは次の通りです。

十トンまで三百五十円

この料金は事業開始以来五年間一度も引上げをしていません。

給水料金は一般家庭が十トンまで一カ月三百五十円。営業用が二十トンまで七百円。それを超えると一トン当り四十五円追加です。

宇宙よりあるいは還らぬ人の声聞きつつ朝の靴みがき居り　浜　是枝　英雄

くれないにアオギの柏は新芽萌え遊び居し冬鳥もいつかまたのたより　旦北　菅盛喜久子

飛石　藤重　幾代

退院後自宅はいたく弱りて一升の鱛油も重く感じ息つ　岩倉上　上重　朝子

初ての飛行機に一番の切符持ち夫より先にチラップ登る　岩倉　前

運動会で走りし事を話す孫は見上ぐるその膝ほどの丈　細北　石田サダ子

病む我に道をへだてて暇かきスープを持ちくれし人の優しさ　細北　潮崎　一雄

午前四時客足多し熱の駅前飯屋朝餉にぎわう　北祝　大野キヌエ

あちこちの木の根を踏みて巡る庭由来伝える声やが絶ゆ　南祝　藤井　明子

なでしこの花活けられし病室を今日もたずねて病状を聞く　恵比須　浜中百合子

あじさいの造花作りの手を休め帽子を被りて磯行く人を見る　小西　磯山　朝子

つつじの花落ちし庭の片隅に一枝のもみじ風に揺れおり　細田　南　雅子

満1歳

野口　重永千恵ちゃん

亮也さん　2女

昭和44年6月2日生まれ

福祉年金受給者は届け出を

指定は十日、十一日

福祉年金（老齢・障害・母子）を受けておられる方は、六月二十日までに昭和四十四年度における受給権者、配偶者、扶養義務者の所得について、届出をすることになっています。そこで町役場住民課では、次の日程により届出をお願いしておりますので、指定日に年金証書と本の証書に押してある印かんをもってお出かけください。

この届は五月から来年四月までの一年間の年金を支給するかどうかを決める大事な届けです。もしこの届出が遅れると九月の支払いに間にあわないことになります。福祉年金は、その費用を全額国で負担していますので、本人や配偶者、または扶養義務者に前年の所得が一定額以上あるときは、その年の五月から翌年の四月まで支給を停止することになっています。

しかし、この所得の制限額は毎年のように引き上げられますので今まで受けられなかったからといって必ずもらえるだろうと早合点しないで必ず届け出ておきましょう。五年間そのままにしておく時効になり受けられなくなります。

なお、ことし満七才になるのは明治二十三年生まれの人です。誕生日がきたら必ず届け出て下さい。

届け出の日は

六月十日（水）阿知須校区（岩倉を除く）

六月十一日（木）岩倉と井関校区

指定日に都合の悪い方は六月三十日までにはぜひ届け出をお願いします。

（改正された点）本人の所得が三十万円未満の場合は受けられる。配偶者と扶養義務者の所得制限が二万七千五百円を百五万九千四百円に引き上げ。

自衛官募集

国家公務員としての資格をもち安定した生活の中で、国家試験の受験勉強ができます。向学心に燃える人には通学の便がはらわれ、規律正しい生活が体験できます。

・資格＝十八歳から二十五歳までの男子。学歴を問いません。

・待遇＝初任給二万五百円。ボーナス三回。服、食事は支給。

・その他　いつも募集しています

問い合わせは役場総務課か自衛隊出張所（宇部市役所内）へ。

短歌

第十三回阿知須短歌会詠草

慶弔録

婚姻

おめでとうございます

この喜びをいつまでも

（　）は旧姓

◉重村　栄　富美子（山本）　向井関　細南

◉村田　雅敏　桂子（辻田）　吉敷郡小郡町　岩辻

◉原田　孝之　洋子（藤田）　宇部市沖宇部　飛石

◉古谷　篤　千枝子（赤間）　赤迫　美祢郡美東町

◉金沢　紀一　逸子（林）　砂三　宇部市東岐波

◉西山　國榮　文子（河野）　大阪府高槻市　北祝

◉中野　功三　和子（西中）　砂三

◉中野　允子　裕勝（長宮）　岩前　山口市江崎

◉柳井　生子　由紀子（瀧野）　引野　宇部市東岐波

◉中谷　樹代　繁照（岡部）　宇部市藤曲　砂三

◉西山　雄子　富士信（関野）　防府市下右田　野口

◉小林　義子　友ツマエ（兼行）　野畑　下松市西豊井

◉三井　昭子　一博（河村）　宇部市西岐波　南祝

◉荒松　助子　頓優（塩部）　宇部市東岐波　寺河内

◉浜田　雄子　恒寿美子（村重）　中村　中村　小東

◉細田　稔　ツヱ（森川）　広島県賀茂郡　浜

◉原田　昭子　勝鏡（田中）　山口市吉敷　砂二

◉松村　曜　八重子（上村）　吉敷郡秋穂町

◉中尾　征夫　和子（後分）　細北　山口市下小鯖　吉敷郡小郡町

◉森池　立美　キサエ（本永）　浜表　美祢市豊田前町

◉津森　誠嗣　美智子（池田）　砂三　徳山市今宿町

◉八木　義和　礼子（江本）　河内

出生

おめでとうございます

ご健康をお祈りします

父の氏名	続柄	子の名	月日	部落
河村　清	長男	憲一	4.26	岩前
坂田　義通	長男	哲彦	4.27	野口
田辺　正彦	長女	由香里	4.29	岩西
山本　信登	長女	三穂	5.1	井関
藤里　勇	長男	徹	5.4	寺河内
橋本　英嗣	長男	昌嗣	5.6	小西
岡部　洋三	長男	一成	5.7	源河
古谷　義雄	長男	宏治郎	5.7	浜表

死亡

おくやみ申し上げます

氏名	死亡月日	年令	部落
兼重　イス	5.2	88	旦北
村田　スマ	5.7	79	東
阪村　久興	5.17	68	杖川
村田金四郎	5.19	74	小東
三好ミサヲ	5.20	71	向井関
重村　マン	5.22	82	砂三

財政状況の公表

昭和44年度下半期

町条例に基ずいて公表します。

阿知須町長　中尾岩雄

1．歳入歳出予算の執行状況

（昭和44年10月1日～45年3月31日）

＜一般会計＞			
歳入予算額	314.473.000円	歳出予算額	314.473.000円
収入済額	139.504.599	支出済額	110.755.548
前期累計	136.613.543	前期累計	170.638.239
収入率	87.80%	支出率	89.48%
＜国保会計＞			
歳入予算額	33.001.000	歳出予算額	33.001.000
収入済額	14.603.437	支出済額	15.009.181
前期累計	14.605.894	前期累計	11.179.640
収入率	88.51%	支出率	79.36%
＜簡易水道会計＞			
歳入予算額	5.248.000	歳出予算額	5.248.000
収入済額	3.825.998	支出済額	2.739.672
前期累計	3.775.634	前期累計	1.878.667
収入率	144.84%	支出率	88.00%
＜交通災害会計＞			
歳入予算額	2.874.000	歳出予算額	2.874.000
収入済額	1.436.818	支出済額	354.419
前期累計	690.081	前期累計	440.162
収入率	74.00%	支出率	27.51%

2．町債および一時借入金の現在高

(1)町債の部　141.424.935

(2)一時借入金　15.000.000

3．町有財産の概況

(1)土地　1.482.376㎡　(2)建物　14.005.500㎡

(3)町一般基本金　3.173.665　(4)電話債券　100.000

(5)出資金　1.903.000